

## グラビア研究会 第10回研究例会

### 小ロット対応への最新グラビア印刷技術動向

グラビア印刷の分野でも顧客ニーズに対応した少量多品種化の中で、より小ロット化に対応せざるを得ない時代となってきている。小ロットに対応した新しい機構を備えた印刷機、刷出し時間の短縮・品質の安定化、これをサポートする特色の調合の効率化についての技術紹介とともに、デジタルと水性グラビア印刷の複合技術の新たな提案についての講演を企画しました。多数の皆様方のご参加をお待ちしております。

主催：(一社) 日本印刷学会 技術委員会 グラビア研究会

協賛：関東グラビア協同組合  
全国グラビア製版工業会連合会

日時：平成27年8月25日(火) 13時00分～16時45分(受付は12時30分から)

会場：日本印刷会館 2階会議室  
電話：03-3551-1808(日本印刷学会事務局)  
〒104-0041 東京都中央区新富1-16-8  
有楽町線 新富町駅(5番出口)から徒歩3分  
日比谷線・JR京葉線 八丁堀駅(A3番出口)から徒歩6分

### プログラム

13:00～13:10 開会の挨拶 技術委員会副委員長 恩河 武男

13:10～13:50

1. 「小ロット対応新型印刷ユニット」(40分) 富士機械工業(株) 西村 高博  
" 山本 弘

時代のニーズに応えるべく、トップフィード方式、版洗浄システム、並びに専用台車による版自動着脱及び養生フィルム巻替装置による段取り時間の削減がもたらす生産性の向上、歩留まりの向上及び品質の向上を可能にした小ロットに特化したグラビア印刷機の提案。

13:50～14:30

2. 「インライン分光光度計とCCM」(40分) クォード・テック日本支店 三木 幸一

色の標準化と顧客からの品質要求を満たすことを印刷現場にて実現するプロセスの一環としてインライン分光光度計とCCMを融合した方法の紹介。品質の向上だけでなく、プロセスの改善、常時測定及び記録によるメリットなどの二次的な効果についても説明する。

休憩 & 展示 (14:30～14:55)

14:55～15:55

3. 「本機立会削減への提案 ～デジタルマルチ校正機とインキディスペンサーの活用～」(60分)  
株日商グラビア 高安 茂規  
サカタインクス(株) 根岸 潤

本機立会を削減するマルチ校正機の改良型EXを紹介。データ活用による校正機立会の効率化、難易度の高い立会への対応、CCMと小型ディスペンサーの利用による特色インキ作成の効率化の提案。

15:55～16:40

4. 「小ロットに対応したデジタルとグラビアハイブリッド印刷

～軟包装用低臭気インクジェットシステムの開発～」(45分)

富士フイルム(株) 荒木健次郎

ハイブリッド化を実用化できた二つの要因(ハード、材料)の内、主に材料、ジェットインク技術にフォーカスして紹介し、重要性能となる高生産性、安全性、高品質を実現した技術について説明する。

16:40～16:45 閉会の挨拶

定 員 : 65名 (定員になり次第締切ります)

締 切 り : 平成27年8月20日 (木)

席に余裕がある場合は当日参加できますが、講演要旨に限りがありますので、学会事務局にお問合せの上、ご来場ください。

参 加 費 : 6,000円 (日本印刷学会 個人会員・賛助会員、協賛団体会員)、  
10,000円 (その他)  
参加費は当日会場受付にてお支払いください。

問 合 せ・ 一般社団法人 日本印刷学会 事務局

申 込 み : 〒104-0041 東京都中央区新富 1-16-8

電 話 : 03-3551-1808

ファクス : 03-3552-7206

E-mail : nijspst-h@jspst.org (平成27年4月1日からメールアドレスが変更になりました)

URL : <http://www.jspst.org/> メール又はFAXにて、参加者の氏名、所属(会社名・所属)、連絡先、行事名、会員/非会員を明記して、学会事務局にお申し込みください。HP掲載後は、HPからのお申込みをご利用ください。

ご 注 意 ; 申し込み後の無断欠席は、ご容赦願います。定員に達してお断り者が出ている場合の無断欠席に關しましては、講演要旨と引き換えに参加費をお申し付けする場合がありますのでご注意ください。講演要旨のみのご購入をご希望の方は、講演会終了後に事務局にて販売します。



※ お断り：終了時間は予定であり、多少前後することがあります。都合によって講師及び演題を変更する場合があります。